

総合型選抜 2024 年度過去問題 理学療法学科

次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

リハビリテーションの4つのステージとは～各ステージの理学療法士の役割～

「リハビリテーション」と聞くと、ケガや病気で身体をうまく動かせなくなってしまった方が、身体を動かす機能を可能な限り回復できるように、歩行練習や筋トレをおこなうというイメージをされる方が多いと思います。しかし、リハビリはそれだけではありません。

リハビリは本来、一人ひとりの人間が、ケガや病気による障害があっても人間らしく生きることを支えることを目指すもので、単にケガや病気の治療を目的としたものではありません。障害があっても社会復帰や社会参加ができるよう、ケガや病気になった直後だけでなく、回復して日常生活に戻ってからも、その時の状態に適したリハビリを提供して、その人の暮らしを支えていきます。

そして、このリハビリの主な4つのステージとして、急性期、回復期、維持期・生活期、終末期があり、多くの専門職がそれぞれの専門性を活かして連携しながらリハビリをおこないます。

理学療法士は、ケガや病気、高齢、障害などによって運動機能が低下した状態にある人々に対して、リハビリを提供する医療専門職の一つです。理学療法を用いて、立つ・起きる・歩くといった生活の基本となる運動機能の回復・維持を図り、最終的にはQOL(生活の質)の向上を目指します。具体的には、運動、温熱、電気、水、光線などの物理的手段を用いた治療や、筋力・動作能力や関節可動域などの評価に基づき患者の課題を設定した運動療法をおこないます。

リハビリの4つのステージでは、対象となる人の重症度や医学的リスクが異なるため、理学療法士に求められる役割も異なります。

「急性期」とは手術前や発症して間もない時期など最も医学的リスクが高い時期です。このステージでは、理学療法士は病状の安定や疾病の治癒を目的に、病態の急変などに対するリスク管理をしながら、理学療法をおこないます。急性期の理学療法士の役割は、麻痺や痛みに対する治療、患部を保護するための正しい動かし方など日常生活の指導、手術後の管理などがあります。それだけでなく、廃用症候群の防止(筋力低下・関節が硬くなることの防止、呼吸機能の維持等)やポジショニング(床ずれの防止)、杖や装具等の使用方法の指導、できる限り早く退院できるようにプランを組むといったマネジメント業務などもあります。

「回復期」とは、病気やケガの状態が安定した患者さんを対象に、可能な限りの機能回復や能力改善を目的に理学療法を提供する時期です。退院して自宅に戻ることや社会復帰を目指して理学療法士を含めた医療専門職がチームで集中的なリハビリをおこないます。回復期の理学療法士の役割は、急性期の治療を終えた患者に対して、歩行や日常生活に必要な動作を獲得するための治療をおこなうことです。患者が自宅に戻った際に使用する手すり等の福祉用具の使い方の指導や、在宅環境に対する提案や介護をする家族への指導などの役割もあります。

「維持期・生活期」とは、医療機関から退院した後ご自宅や施設などで、自己の能力を活用し、その人らしい生活と社会参加を実現する時期です。能力の維持と向上を図り、状態悪化、再発を防ぐことも重要になります。理学療法士は、運動方法の指導や住宅改修、福祉機器等の利用の提案などを通じてサポートをおこないます。また、できることや得意なことは一人でやってもらうといったその方の能力を活かした介助方法など、ご家族への指導もおこないます。維持期・生活期では、獲得した動作が低下しないように身体機能の維持・向上とともに、日常生活の自立支援を図ること

が理学療法士の役割です。また、仕事への復帰・社会参加、福祉用具選定・住宅改修、家族指導、病態悪化の予防など、元の生活に戻ってからの生活をサポートします。

「終末期」とは、心身や生活全体の生活の質を高めるための「ケア」を重視した時期です。医療・介護・福祉従事者等の関係者と連携しながら、痛みや倦怠感、呼吸の苦しみの軽減、負担のかからない動作の提案、環境設定などご本人の希望に沿って支援をおこないます。終末期の理学療法士の役割は、ご本人の意思に沿った支援、リラクゼーション、ポジショニング、痛みや倦怠感、呼吸の苦しみの軽減などです。そしてより快適に過ごせるように福祉用具の提案や家族指導もおこないます。

理学療法士はケガや病気のステージに応じて、身体動作・機能の改善や向上を助けるだけでなく、福祉用具の提案や家族への指導といった、自立した生活を送るために必要なサポートをおこなっています。リハビリのイメージが歩行練習や筋トレだけだと思っていた方は印象が変わったのではないのでしょうか。

日本理学療法士協会 リガラボ「【第1回】リハビリテーションの4つのステージとは～各ステージの理学療法士の役割～」より一部抜粋し、変更・補記した。 <https://rigakulab.jp/2021/07/07/id000100/>

問1 理学療法士の役割について、500字以内で述べなさい（字数には句読点を含む）。

問2 「自立した生活を送るために必要なサポート（下線で示した部分）」について、理学療法士はどのように関わるのが望ましいのか、あなたの考えを300字以内で述べなさい（字数には句読点を含む）。